

令和3年11月25日提出

令和3年12月市議会定例会発議案

(発議案第6号及び発議案第7号)

木更津市議会

令和3年12月市議会定例会発議案目録

発議案番号	件名	頁
発議案第6号	木更津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	1
発議案第7号	基地対策関係施策に関する要望書について	3

発議案第6号

木更津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
上記議案を別紙のとおり木更津市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和3年11月25日

提出者	木更津市議会議員	斉藤	高根
賛成者	同	鶴岡	大治
賛成者	同	永原	利浩
賛成者	同	渡辺	厚子
賛成者	同	國吉	俊夫
賛成者	同	大村	富良

木更津市議会議長 重城 正義 様

提案理由

令和3年の人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告を踏まえ、木更津市議会議員の期末手当の支給率を改定するため、関係条例の整備をしようとするものである。

木更津市条例第 号

木更津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

木更津市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年木更津市条例第39号）の一部を次のように改正する。

第4条第2項中「100分の222.5」を「100分の207.5」に改める。

附 則

この条例は、令和3年12月1日から施行する。

発議案第7号

基地対策関係施策に関する要望書について

上記議案を別紙のとおり木更津市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和3年11月25日

提出者	木更津市議会議員	永原	利浩
賛成者	同	斉藤	高根
賛成者	同	石川	富美代
賛成者	同	石井	徳亮
賛成者	同	竹内	伸江
賛成者	同	平野	卓義

木更津市議会議長 重城正義様

提案理由

基地周辺住民や市民の生活環境の維持向上に向け、諸課題の改善、解決等を要望するため、別紙要望書を、地方自治法第99条の規定により、関係機関へ提出しようとするものである。

基地対策関係施策に関する要望書

木更津市は、陸海空の3つの自衛隊が所在しており、市議会としては国防を担う自衛隊と本市民が良好な関係を維持するため、特定防衛施設周辺整備調整交付金等を活用し、本市民の生活環境、とりわけ基地周辺住民の生活環境及び本市の福祉等の維持向上に努めています。

しかしながら、ここ数年の間に米海兵隊オスプレイ定期機体整備受け入れに始まり、加えて令和元年暮れには陸上自衛隊オスプレイの暫定配備を本市とすることに対し条件付きで容認し、令和2年7月10日暫定配備がなされたところです。本市議会としては、基地周辺住民や本市民への負担が増す中、本市での暫定配備期間終了後を見据えて、次期配備の協力をお願いする自治体への打診等の働きかけを進めるとともに、市民の安全安心を第一に考え、先に貴省と本市が取り交わした合意書の遵守も合わせ、このような状況にある事を十分ご賢察いただき、次の事項の実現を図るよう強く要望します。

1. 議会並びに木更津駐屯地に関する協議会に対して、情報提供を直接、適切かつ速やかに行い、諸課題の改善、解決を図ること

議会にはもとより、本協議会、とりわけ実情を良く知る者が参加する部会（区長部会及び漁業協同組合部会）においても、情報提供されることで、オスプレイ関係のみならず、基地がある故に既に生じている諸課題がより明確化されるものと考え、以下の3点を要望します。

- ・市民からの負託を受けている議会に対して、丁寧な説明と速やかな情報提供を行うこと。
- ・本協議会において明確化された諸課題の改善、解決のための方策に誠意をもってあたること。
- ・本市に所在する陸海空の自衛隊に対しては、今まで以上の安全対策を徹底し、市民の安全安心確保のための対策を行うこと。

2. 基地周辺対策経費の所要額を確保すること

特定防衛施設周辺整備調整交付金は、市民の基地に対する理解と協力を得るために重要な財源であり、本市もこの交付金を活用し生活環境の整備や住民福祉の向上等に鋭意努力しています。しかしながら基地の所在による特殊な財政需要の増大により厳しい財政状況であることには変わりがなく、今後陸自オスプレイ10機の暫定配備が予定されており、生活環境へのさらなる影響が予想されることから、以下の3点を要望します。

- ・米海兵隊オスプレイの定期機体整備の受け入れ、加えて陸自オスプレイの5年間の暫定配備による態様の変化に伴う諸課題解決のための所要額を確保すること。
- ・市民の安全確保につながる事業については引き続き支援いただくこと。
- ・江川総合運動場野球場及びサッカー場の市による施設整備に対する助成予算の確保を行うこと。

3. 基地周辺地域の生活環境の維持向上に努めること

近年、平日の早朝や夜間、さらには休日における飛行訓練が続き、離発着訓練が終わった後もエンジン音により基地周辺住民の生活環境は悪化しています。木更津駐屯地に関する協議会区長部会及び漁業協同組合部会においても、懸念事項として改善を求める声が多かったことから、以下の5点を要望します。

- ・飛行場周辺地域における騒音環境基準（現行62dB）を航空機騒音の環境基準（現行57dB）まで引き下げるとともに、騒音環境被害の実態と、場周経路下に居住する住民の生活環境を保障するため、補助対象区域を拡大するとともに、住宅防音工事の補助対象世帯等の見直しも行うこと。

- ・ オスプレイをはじめ、自衛隊機及び米軍機の訓練や飛行は飛行場運用規則に従って適正に行うことはもとより、高度を保つなど、より一層騒音被害を生じさせる事のないよう対策すること。
- ・ 航空機の騒音対策を徹底するとともに、航空機等から発せられる低周波被害についても健康への影響を懸念する声があることから、低周波に関する調査研究を実施し、必要な対策を講ずること。
- ・ 緑地帯や緩衝地帯など、引き続き地域の生活環境を悪化させないよう適切な管理を維持すること。
- ・ 木更津駐屯地内に保有する人体に影響のある薬剤及び危険物については、適切に保管、処理を行い、報告すること。

4. 地域との共生に努め防災や産業活性化に寄与すること

木更津駐屯地は陸上総隊の一翼を担う第一ヘリコプター団の常駐により、日本国内はもとよりアジア各地の災害に対応する能力を備えていると考えます。また、市民のみならず地域企業との共生に努めることは非常に重要であると考えことから、以下の2点を要望します。

- ・ 木更津駐屯地は地元自治体との災害時の協力体制をより一層深化させ、発災時における住民の安全確保に寄与すること。
- ・ 引き続き、木更津産農作物等の糧食、物品の地元調達を促進するとともに、防衛施設関係工事及び維持修繕等の地元企業の受注機会の確保や市民の雇用を積極的に行うよう指導すること。

令和3年 月 日

防衛大臣	様
防衛装備庁長官	様
地方協力局長	様
北関東防衛局長	様

木更津市議会議長
基地政策特別委員会委員長